

本日のプログラム

<国際奉仕委員会>

安藤志子委員長

今年の国際奉仕委員長会議は、10月12日ソシア21で開かれました。亀ヶ谷ガバナーの挨拶の後、吉原皓一郎地区国際奉仕委員長が2590地区内の現状報告をされました。去年より国際奉仕を何とかしようと考えているクラブが増えているそうです。

2月は「世界理解月間」と定められており、RIから国際理解と親善を強調したクラブ・プログラムと活動を実施するように要請されています。クラブの国際奉仕委員会としてぜひ卓話を計画してほしいという事でした。

次に2590地区、8グループの代表がクラブの国際奉仕の活動状況報告をしました。第1グループは川崎大師RCで、外国の姉妹クラブとの盛んな交流話をされました。一例ですが、エクアドルには車2台、赤十字には補助金を寄付しました。人数の多いクラブだからできる事と思いました。

第2グループは川崎北RCで、バヌアツ共和国のポートピラ市に国際奉仕団として20名で訪問をしたそうです。病院にマイクロスコープ（顕微鏡）を寄贈されました。後に中原RCも加わり、1年おきの訪問が実現しています。

第4グループは神奈川東RCで、平成11年の例会でスリランカの井戸掘りボランティアの卓話を聞いた際、会員に募金箱をまわしたところ65,000円集まり寄付したそうです。その後、井戸と幼稚園を作ったそうです。今年も300,000円集まったそうです。現地の水汲みの時間が減り、農作物ができるゆとりが持てるようになったなどと報告がされてくるそうです。

第6グループ横浜本牧RCは、留学生にスピーチコンテストや日本語学校の支援など行っているそうです。

以上、いくつか紹介しましたが、皆さん各々うまくいってるばかりではなく苦勞したり、途中で中止だったり、悩んでいるクラブもあるようです。私どものクラブも先日の桐光学園のモンゴルへの机寄贈

の話も、ロータリーの友やガバナー月信に載せて、会員の方に知っていただけたら良いと思いました。

